

評価の観点	観点の説明	1	2	3	4
① 説明のわかりやすさ	プレゼンテーション全体について、筋道を立てたアウトラインであり、わかりやすい説明になっているか。	プレゼンテーション全体を通して、話す順序に一貫性がみられず、内容も把握しづらい。	プレゼンテーション全体を通して、概ね筋道の立った順序で話されているが、所々、内容について把握しづらい箇所がある。	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立ったわかりやすい発表内容である。	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立ったわかりやすい発表内容であり、内容もストーリーとしてよりよく把握できる。
② 主張・論点の明確さ	主張や論点が明確であり、十分にまとめられているか。	主張や論点がテーマから逸脱しており、主張内容もわかりづらい。	主張や論点はテーマに沿ったものだが、主張内容にまとまりがみられない。	主張や論点はテーマに沿ったもので、その主張内容にまとまりがみられる。	主張や論点はテーマに沿ったもので、その主張内容にまとまりがみられ、要点も明確で理解しやすい。
③ 視覚情報・資料の効果	視覚的な情報(図表、アニメーション)や資料(レジュメ等の配布物)が効果的に使用されており、強調したい内容が的確に示されているか。	視覚的な情報が有効に使用されておらず、強調点とその内容もわかりづらい。	視覚的な情報が使用されているが、強調点やその内容がややわかりづらい。	視覚的な情報が有効に使用されており、強調点やその内容がわかりやすい。	視覚的な情報が効果的に使用されており、強調点とその内容がわかりやすく、大いに工夫されている。
④ 声の聞き取りやすさ	声が十分に聞き取りやすいかどうか。	声が聞き取れない。	声は概ね聞き取れるが、所々聞き取れない部分がある。	声が聞き取りやすい。	声の大きさに抑揚がついており、十分に聞き取りやすい。
⑤ 表現の工夫	ジェスチャー、聴衆へのアイコンタクトなど、スピーチの表現に工夫がみられるかどうか。	ジェスチャー、聴衆へのアイコンタクトなど、スピーチの表現に工夫がみられない。	ジェスチャー、聴衆へのアイコンタクトなど、スピーチの表現に工夫はややみられるが、単調な印象である。	ジェスチャー、聴衆へのアイコンタクトなどが適宜使用されており、スピーチの表現にも工夫がみられ、印象にも残る。	ジェスチャー、聴衆へのアイコンタクトなどが効果的に使用されており、スピーチの表現にも工夫がみられ、思わず見入ってしまう。
⑥ 時間管理・情報量の適切さ	発表時間が守られており、情報量が適当であるかどうか。	発表時間に大幅な余りが見られたり、超過したりしており、情報量にも過不足が見られる。	発表時間が制限時間内に収められているが、情報量には過不足が見られる。	発表時間が制限時間内に収められており、情報量も適当である。	発表時間が制限時間内に収められているとともに、情報量はテーマに即して適当であり、必要十分である。